

東京クルース 71

17	1クォーター	15
13	2クォーター	18
17	3クォーター	17
15	4クォーター	12
9		11

73 富山WBC

東京クルース(東京)							
No.	氏名	持点	得点	3P	2P	自投	ファ
4	大田 優人	3.0	4		2		2
7	坂詰 直己	1.5	15		7		2
9	山崎 貴城	1.0					
10	国分 勝寿	2.0	2		1		1
11	加成 健二	2.0	20	3	5	1	4
15	林 知宏	3.0	12		5	2	5
16	丸岡 正樹	2.5	14		7		5
17	田中 栄一	3.5	4		2		5
合計			71	3	29	4	24

富山県車椅子バスケットボールクラブ(東海北陸)							
No.	氏名	持点	得点	3P	2P	自投	ファ
4	前山 賢吉	4.5	18		6	6	4
5	森 広尚	1.0					
6	松元 健悟	3.0					
7	島 正樹	1.0	2			1	1
8	高田 淳一	2.0	20		10		2
9	堀田 良明	4.0					
10	円山 真一	2.0					
11	中村 昌樹	2.0	8		4		4
12	宮島 徹也	4.0	25		11	3	4
13	浦田 蒼伍	3.0					
14	安田 武志	2.0					
15	石田 均	2.0					
合計			73		32	9	15

主審/杉山 兼芳 副審/八木 信宏 ・ 斉藤 登 スコアラー/田中 幸加 タイマー/大久保 亮祐
24秒タイマー/後藤 敬介

■ 戦評 記入者/塚越 千里 <高崎市バスケットボール協会>

- 1Q: 迎えた決勝は両チームとも順当に勝ちあがってきたチーム。東京はアウトサイドを武器とするチーム、富山はスペースを使いインサイドを得意とするチームがスタートはルーズボールを追う展開から始まった。富山のゴールから流れが行き来する中、富山のパスミスが目立ち東京のオフェンスが確実に加点して話していく展開になり、富山のファールも目立ってきた。
 - 2Q: 落ち着きを取り戻せたと思った序盤、転倒が相次いだ。東京⑮林の表からのシュートが決まるも富山④太田から⑫宮島へのインサイドのパスが決まり始め、アウトサイドとインサイドの戦いの様相が激しくなり、よりディフェンスも熱を帯びる中、富山宮島のブザービーターで前半で締めくくった。
 - 3Q: 両チームの特色が出てきて始まった後半戦、アウトサイドの東京、インサイドの富山がパスミスも減り、東京⑪加成⑮林のシュートも安定して決まり始め、富山のディフェンスも機能し一進一退が続いて3点差で終盤を迎える。
 - 4Q: ボールサイドは静かに始まった4Qだが、ボールのない場所での激しいぶつかり合いが続いた。特に東京のファールが目立ち、東京の得意なアウトサイドシュートもリングに嫌われ始めた。一方富山はインサイドを粘り確実に加点し同点に、62-62 延長戦。
- 延長戦: ファールが味方したのか、東京のディフェンスが止まり、反対にファールをしてしまい、相手にフリースローを与え、あせって打ったシュートもはずれ、逆に追い詰められファールという流れができてしまい最後踏ん張ってシュートに行くも一歩及ばなかった。